

操作パネル操作説明書

LED スポットライト MILS-SERIES

丸茂電機株式会社

目次

1. 概要.....	1
2. 操作パネル構成.....	1
3. 各種操作.....	2
3-1. メニューの選択と値の設定	2
3-2. 上位階層メニューへの遷移	2
4. メニュー構成.....	3
5. 各メニュー詳細.....	5
5-1. START ADDR について.....	5
5-2. CH MODE について	5
5-3. INFORMATION について.....	5
5-4. CONFIGURATION について.....	6
5-4-1. ハロゲンレスポンス	8
5-4-2. レスポンス機能	9
5-4-3. アウトプットモード	10
5-4-4. 操作パネルロック機能	11
5-5. MANUAL MODE について.....	12

- ・【 】 : 操作ボタンを指します。
- ・《 》 : 画面内の項目を指します。

1. 概要

本書はLED スポットライト MILS-SERIES（以下「器具」という）における操作パネルの操作説明書です。

2. 操作パネル構成

操作パネルは、操作ボタン、ディスプレイ、LED ランプで構成されます。

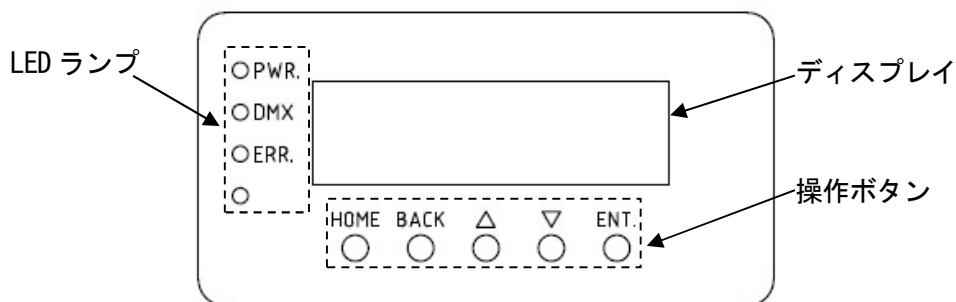


図 2-1. 操作パネル外観

表 2-1. 操作ボタン機能

表記	機能
HOME	HOME 画面に移動します。
BACK	1 つ上の階層メニューへ移動します。値設定時の入力を中止します。
▲	メニュー項目の切り替えや、設定時における値を増加させます。
▼	メニュー項目の切り替えや、設定時における値を減少させます。
ENT.	メニュー選択中は設定開始あるいは下階層へ移動します。値設定時は値を決定します。

表 2-2. LED ランプ各部機能

表記	機能
PWR.	器具が受電しているときに橙色に点灯します。
DMX	DMX 信号を受信しているときに緑色に点灯します。
ERR.	エラー発生時に赤色に点灯します。
—	未使用

※ HOME 画面は HOME ボタンを押した際の移動先の画面《START ADDR》を指します。

3. 各種操作

3-1. メニューの選択と値の設定

メニュー項目は【▲】【▼】で切り替えます。値の設定が可能な項目や、更に下の階層が存在する項目は、【ENT.】を押すことで設定開始あるいは下階層へ移動します。

値の設定時は、【▲】【▼】で値を調整し、【ENT.】で決定します。

初期設定では 15 秒間触れないと自動的にパネル面が消灯します。自動的に消灯すると、設定中の値はキャンセル扱いとなり設定前の値に戻ります。

3-2. 上位階層メニューへの遷移

【BACK】ボタンを押すことで、1 つ上の階層メニューへ遷移します。

4. メニュー構成

本操作パネルにおける階層構造に関して図示します。

各階層における□枠が一つのメニューを表しています。同一階層内では【▲】【▼】でメニューを切り替えられます。

【BACK】を押すことで、1つ上の階層メニューへ移動します。値設定時は設定中の入力を中止します。

【ENT.】を押すことで、メニュー選択中は設定開始あるいは下階層へ移動します。値設定時は値を決定します。

メニュー構成各図の[]内の値は出荷時の設定値です。

背景が青色の項目は値を設定する項目になります。

※各項目詳細については「表 5-1. 《INFORMATION》 項目詳細」「表 5-2. 及び表 5-3. 《CONFIGURATION》 項目詳細」を参照してください。

1階層目

START ADDR: [1]
MODE:CH
・スタートアドレスの設定を行います。

CH
MODE:[CH]
・チャンネルモードの設定を行います。

INFORMATION
・情報を表示する項目です。

2階層目

MODEL NAME
[機種名]
・設定されている機種の表示します。

SOFT VERSION
・内部基板のバージョンを表示します。

RDM UID
[個別]
・RDMのユーザーIDを表示します。

RDM LOCK PIN CODE
0000 UNLOCK
・RDMのロックピンコードを表示します。

3階層目

DISPLAY
Ver X.XXX R360
・基板のバージョンを表示します。

DRIVER 1
Ver X.XXX S030
・基板のバージョンを表示します。

図 4-1. 操作パネルメニュー構成 (1)

次頁へ

前頁より

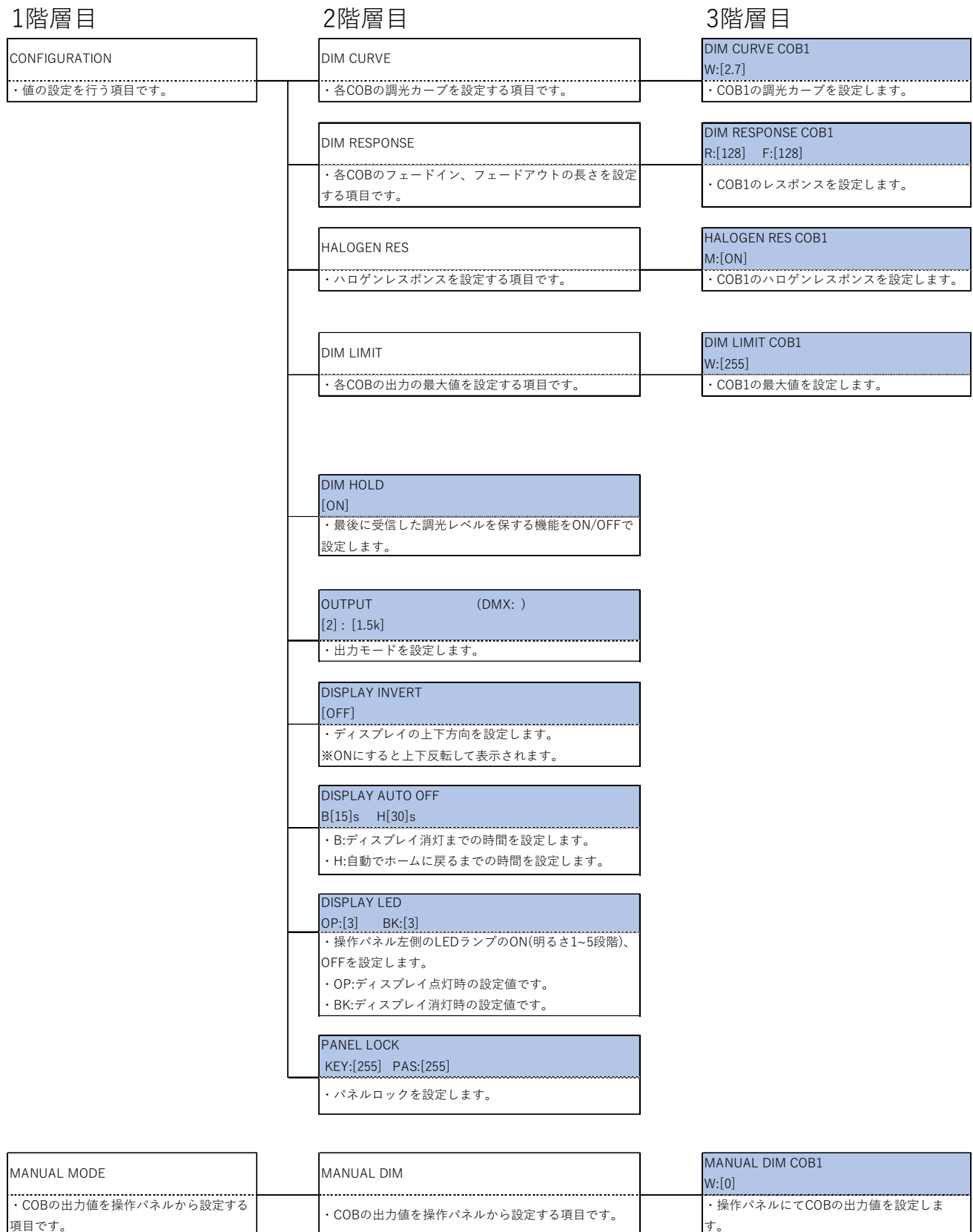


図 4-2. 操作パネルメニュー構成 (2)

5. 各メニュー詳細

5-1. START ADDR について

本器具の先頭アドレスを設定するには、1 階層目の《START ADDR》を表示させ、【ENT.】を押して下さい。
【▲】【▼】によって先頭 DMX アドレスを設定し、【ENT.】によって決定します。
制御に使用する CH 数によって DMX アドレスの設定範囲は異なります。

5-2. CH MODE について

本器具の制御モードを切り替えるには、1 階層目の《CH MODE》を表示させ、【ENT.】を押して下さい。
【▲】【▼】によって制御モードを選択し、【ENT.】によって決定します。
各制御モードについては取扱説明書「MILS-SERIES_OPMK-5245」を参照ください。

5-3. INFORMATION について

本器具の各情報を表示するには、1 階層目の《INFORMATION》を表示させ、【ENT.】を押して下さい。
【▲】【▼】によって各情報メニューを選択します。

表 5-1. INFORMATION 項目詳細

項目:2 階層目	項目:3 階層目	説明
MODEL NAME	-	器具の型番を表示します。
SOFT VERSION	DISPLAY	操作パネル及び制御ドライバのソフトウェアバージョンを表示します。
	DRIVER1	
RDM UID		RDM のユニーク ID を表示します。
RDM LOCK PIN CODE		RDM のロックピンコード※を表示します。

※ロックピンコードとは RDM 通信をロックするための 4 桁数字のピンコードになります。

5-4. CONFIGURATION について

《CONFIGURATION》を選択することで、各種設定メニューの選択を開始します。

【▲】【▼】によってメニューを選択します。値を変更可能なメニューについては、【ENT.】によって値の設定を開始します。

設定値は変更中でも反映されます。【ENT.】で設定値を保存します。【ENT.】で保存しなかった場合、【BACK】【HOME】及び自動消灯で設定値を破棄し、変更前の値に戻します。

表 5-2. 《CONFIGURATION》項目詳細(1)

項目:2 階層目	項目:3 階層目	内容
DIM CURVE	DIM CURVE COB1	COB※の調光カーブを設定します。 調光カーブは 1.0~3.0 乗(0.1 刻み)から設定してください。
DIM RESPONSE	DIM RESPONSE COB1	調光のレスポンスを設定します。 レベル 0~255 から設定してください。 詳細は「5-4-2. レスポンス機能」を参照してください。
HALOGEN RES	HALOGEN RES COB1	COB※のハロゲンレスポンスを設定します。 ON/OFF から設定してください。 詳細は「5-4-1. ハロゲンレスポンス」を参照してください。
DIM LIMIT	DIM LIMIT COB1	COB※の調光レベルの上限を設定します。 レベル 0~255 から設定してください。
DIM HOLD	-	器具への DMX 信号が途絶えた際に、最後に受信した調光レベルを保持する機能の ON/OFF を設定します。 DMX 信号が途絶えた際、器具の位置は保持されます。 調光レベルにおいては《DIM HOLD》の設定に応じて動作します。
OUTPUT	-	出力レベルを設定します。 SILENT、1k、1.5k から選択してください。 詳細は「5-4-3. アウトプットモード」を参照してください。

※ COB は光源を指します。

表 5-3. 《CONFIGURATION》項目詳細(2)

項目:2 階層目	項目:3 階層目	内容
DISPLAY INVERT	—	操作パネルの表示を上下反転させることができます。 ON に設定すると反転します。
DISPLAY AUTO OFF	—	操作パネルの自動消灯を設定します。 B: 表示画面の自動消灯時間を設定します。 H: 表示が自動で HOME 画面に戻る時間を設定します。 5s~600s より設定してください。(1s=1 秒となります。) 常時点灯させたい及び HOME 画面に戻らないようにする場合は ——表示にしてください。
DISPLAY LED	—	LED ランプの明るさを設定します。 OFF/1~5 から選択してください。 OP: 操作パネル操作時の LED ランプの明るさを設定します。 BK: 操作パネル消灯時の LED ランプの明るさを設定します。
PANEL LOCK	—	操作パネルのロック No. を設定します。 詳細は「5-4-4. 操作パネルロック機能」を参照してください。

5-4-1. ハロゲンレスポンス

フェード操作への応答性を変化させることで、器具の点灯速度を調整する機能です。ON に設定することで応答を遅くし、ハロゲン電球の調光変化にあわせることが可能です。

ハロゲンレスポンスを ON にするとハロゲン電球の調光を模した動作になるため、カットイン/カットアウト時（フラッシュ、ストロボ）の応答性が遅れます。カットイン/カットアウトを使用する際はハロゲンレスポンスを OFF にしてください。

なお、表 5-4 の通り制御モードによって挙動が異なります。

表 5-4. 制御モード毎のハロゲンレスポンスの設定方法・詳細

制御モード	設定方法・詳細
1CH モード 2CH モード	・ 操作パネルにて設定します。 ・ ハロゲンレスポンスを OFF にすると、次項のレスポンス機能の設定値が有効になります。
3CH モード 4CH モード①	・ DMX 信号にて設定します。
4CH モード②	・ ハロゲンレスポンスの設定は不可です。 次項のレスポンス機能にて点灯速度を調整するモードです。
5CH モード	・ ハロゲンレスポンスの設定は不可です。 次項のレスポンス機能にて点灯速度を調整するモードです。

※DMX 信号による設定方法は取扱説明書「MILS-SERIES_OPMK-5245」を参照ください。

5-4-2. レスpons機能

フェード操作への応答性を任意に変化させることで、器具の点灯速度を調整する機能です。設定値が大きい程、遅延率が上昇します。

以下のように、調光上昇時と調光下降時でレスポンス値をそれぞれ設定できます。

R: 調光上昇時 (Rise) のレスポンス値の設定です。

F: 調光下降時 (Fall) のレスポンス値の設定です。

レスポンス機能で値を設定すると、カットイン/カットアウト時（フラッシュ、ストロボ）の応答が遅れます。カットイン/カットアウトを使用する際はレスポンスの値を0にしてください。

なお、表 5-5 の通り制御モードによって挙動が異なります。

表 5-5. 制御モード毎のレスポンス機能の設定方法・詳細

制御モード	設定方法・詳細
1CH モード 2CH モード	・ 操作パネルにて設定します。 ・ 前項のハロゲンレスポンスが ON になっている場合は—(H) という表示になり、レスポンス機能の設定値は参照されません。レスポンス機能を優先する場合はハロゲンレスポンスを OFF にしてください。
3CH モード 4CH モード①	・ レスポンス機能での設定は不可です。 前項のハロゲンレスポンスを ON することで点灯速度を調整するモードです。
4CH モード② 5CH モード	・ DMX 信号にて設定します。

※DMX 信号による設定方法は取扱説明書「MILS-SERIES_OPMK-5245」を参照ください。

5-4-3. アウトプットモード

明るさとファンの回転速度を設定する機能です。

以下のように明るさとファンの回転速度を設定できます。

1.5k : ハロゲン電球 1.5kW 相当の明かりを出力します。ファンの回転は最大になります。

1k : ハロゲン電球 1kW 相当の明かりを出力します。ファンの回転が 1.5k より遅くなります。

SILENT : 出力を抑制し、ファンの回転が停止します。

なお、5CH モードの時は DMX によって設定します。

※DMX 信号による設定方法は取扱説明書「MILS-SERIES_OPMK-5245」を参照ください。

5-4-4. 操作パネルロック機能

操作パネルの設定が意図せず変更されることを防ぐため、操作パネルをロックする機能です。

《PANEL LOCK》を選択することで、操作パネルのロック設定を開始します。

《PAS》を【▲】【▼】によって変更し、《KEY》と異なる値にすることでロックをかけます。

※ 《KEY》の初期値は 255 です。《KEY》の値も変更できます。

※ 《KEY》の値がわからなくなった際は、当社営業まで連絡をください。



図 5-1. 《PANEL LOCK》表示画面(その 1)

ロックをかけると《PANEL LOCK》以外の項目の設定を変更できません。



図 5-2. 《PANEL LOCK》表示画面(その 2)

《PAS》に《KEY》として設定している値を入力することでロックを解除します。

解除後は各項目の値を変更できます。

5-5. MANUAL MODE について

《MANUAL MODE》を選択することで、操作パネル上から点灯させることができます。

点灯方法

以下のように操作し、《MANUAL DIM COB1》の画面に移動します。

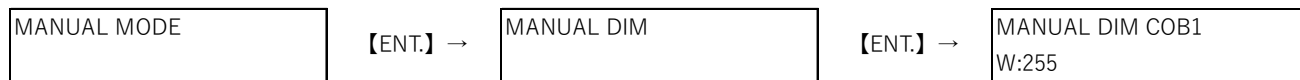


図 5-5. 《MANUAL MODE》表示画面(その1)

【ENT.】を押すと値を変更できるようになりますので、【▲】【▼】で値を調整します。
再度【ENT.】を押すことで決定できます。